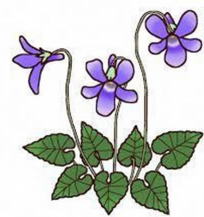


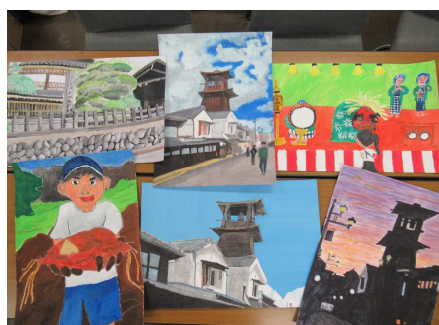
川越子どもサポート



令和2年3月
川越市教育委員会地域教育支援課

川越子どもサポート発表会が開催されました

2月8日（土）、川越やまぶき会館において、「川越子どもサポート発表会」が開催されました。この発表会は子どもたちの「生きる力」を育むために、学校・家庭・地域がどのように連携を進めていけばよいのか、その取組について、実践発表を中心にみんなで考える機会として実施されているものです。発表会当日は、各地区のサポート委員をはじめ、学校関係者、保護者、各地区の協力者、自治会の方など約400名の参加があり、発表地区の説明や資料・スクリーン等をとおして各地区の活動を振り返ることができ、それぞれの地域における今後の活動推進につながるものと思われます。



発表会では、はじめに11地区のサポート委員会の活動の様子がスライドとナレーションで紹介されました。いずれの地区も子どもたちが生き生きとした表情で、楽しそうに活動している姿が映し出されていました。続いて、今年度発表の3地区（中央、中央南、名細）のプレゼンテーションがありました。3地区とも発表時間を有効に使い、地域の特色を活かした事業の活動を紹介していました。会場の参加者が笑顔で応援していました。

各地区の発表のあと、子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」で、ベスト見つけ賞に輝いた8人の作品発表と表彰が行われました。作文・絵画・新聞それぞれの部門で受賞した子どもたちの発表は大変素晴らしく、参加者からあたたかい拍手をいただき、会場は和やかな雰囲気につつまれました。遠藤実行委員長からは「子どもたちの作品は川越愛にあふれていると感じました。」という講評をいただき盛況のうちに幕を閉じることができました。



川越子どもサポート発表会

各地区からの発表

中央サポート委員会



中央地区は、市の中央部に位置し、小学校3校と中学校2校が属しています。

毎年3つの小学校の運動場や体育館を利用して実施される「青空児遊館」の横断幕を披露しながら活動内容を報告しました。

昨年度から始めた「わがまち小江戸川越の民話を楽しもう」では

寺社や公園など民話の舞台をシルバーガイドさんと一緒に歩きながら巡りました。また、中学生が写真を撮影し、川越の魅力を再発見する取組も紹介されました。



民話を楽しもう



ダンボールジャングル



木工体験

中央南サポート委員会



中央南地区は、小学校3校と中学校2校の学校教育活動の支援・補助を中心とした活動を紹介しました。

小学校での凧作り体験・昔遊び体験や小中学校の家庭でのミシンを使った学習の支援、中学校の調理実習の支援等を中心に活動しています。

各学校での活動がスムーズに展開できるように、学校ごとにコーディネーターを配置した組織をつくり、先を見通した立案の上での実施・評価を実践しています。

活動に不可欠なボランティアの募集は自治会やPTA等へ依頼し、綿密な結びつきを構築し事業を展開しています。



昔の遊び体験



凧づくり体験



調理実習支援

名細サポート委員会



名細地区では、活動方針を基にサポート委員会の会議の中に、グループ協議を取り入れ、課題と方向性を確認してから進めています。

農業体験・せんべい焼き体験・学校支援・講演会に加え、今年度新たに「こもれびの森探検隊」を実施しました。地区内にある東洋大学の協力を得て構内を会場にして、木や花、苔や生き物についての説明を受けながら探検しました。探検に参加した子どもたちの感想発表には、会場の方々からあたたかい拍手が送られました。



せんべい焼き体験



さつま芋の収穫（一昨年）



こもれびの森探検隊

子どもサポートコンクール 「小江戸見つけ隊」入賞者一覧

※各部門とも、小学校低学年（小1～小3）、小学校高学年（小4～小6）、中学生に分けて審査しました。

① 作文部門

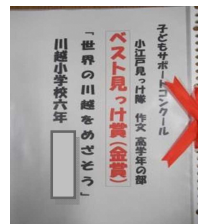
○ベスト見つけ賞（金賞）

川越第一小3年



「きたいんのぼんおどり大会」

川越小6年



「世界の川越をめざそう」

○小江戸賞（銀賞）

川越第一小3年「りゅう池べんざい天」

大塚小4年「感しゃの気持ちをこめて」

○子どもサポート賞（銅賞）

仙波小3年「ぼくのまわりの身近な人々」

霞ヶ関小6年「ぼくが住む地区・山伝」

○入賞

新宿小2年「外国の言ばが聞こえる町、小えど」

高階南小5年「地いきの人の愛情に守られて」

高階南小2年「川ごえいいかんじ」

福原小6年「大好きな福原地区」

山田中1年「訓練を続ける事の重要性」

② 絵画部門



大東西小1年

「川越のさつまいもほりと秩父連山」



川越西小6年

「川越城本丸御殿」



芳野中1年

「歴史ある時の鐘」

○小江戸賞（銀賞）

武蔵野小3年

「頭がよくなりますように・・・」

福原小6年

「時の鐘」

大東西中1年

「歴史深い時の鐘」

○子どもサポート賞（銅賞）

霞ヶ関北小3年

「きたいんのだんごや」

山田小5年

「川越のめいしよ」

大東西中3年

「喜多院」

○入賞

牛子小3年

「熊野神社での和太鼓」

山田小5年

「ハサミから見える自まんの風景」

大東西中2年

「川越に響く夏の音」

川越第一小3年

「雨上がりの伊佐沼の古代はす」

中央小5年

「大好き！！川越！！」

③新聞部門

○ベスト見つけ賞（金賞）

仙波小2年



「かわごえ こふん 新聞」

寺尾小6年



「小江戸探索新聞」

大東中2年



「未来は続くよどこまでも」

○小江戸賞（銀賞）

仙波小3年

「川ごえまつりについて」

川越第一小5年

「川越の川新聞」

東中1年

「小江戸川越 時の鐘新聞」

○子どもサポート賞（銅賞）

南古谷小2年

「南古谷のいいところはっけん新聞」

古谷小5年

「小江戸川越新聞」

東中1年

「古谷の大字」

○入賞

川越第一小3年

「～時の鐘～いつだれが作ったのか。」

大東東小6年

「小江戸見つけ隊新聞」

東中1年

「川越の寺院・神社めぐり」

川越第一小3年

「エコの町川ごえつばさ館」

古谷小6年

「川越オアシス新聞」

東中1年

「川越の歴史」

子どもサポートコンクール

「小江戸見つけ隊」作品展が開催されました

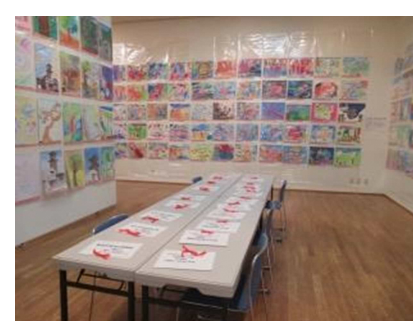
今年度も子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」作品展が川越市立美術館市民ギャラリーとアートホール（2月20日～24日、全応募作品の展示）で開催されました。

開催期間中、全応募作品1, 120点が展示され、来場者は932名でした。

アンケートでは、「川越の自慢がたくさんあって、誇りに思っていると感じました。」「子どもたちの目線で見えた川越が描かれ、新しい魅力を発見できました。」等の感想をいただきました。今後も、子どもたちが地域の方々とのふれあいをとおして川越や地域のすばらしさを感じながら成長していったほしいと願います。



1階 川越市立美術館市民ギャラリー 絵画と作文



2階 アートホールに展示された絵画と新聞

